

IgA 腎症の重症化因子の同定に関する研究

1. 研究の対象

1995 年 1 月～学校長承認日（令和 4 年 7 月 5 日）までに当院で腎生検を受けられた方、また、当院で病理解剖を行われた方

2. 研究目的・方法・期間

IgA 腎症は日本人に発症する原因不明の慢性糸球体腎炎の中で最も頻度の高い疾患ですが、成人期発症 IgA 腎症の末期腎不全に至る確率は 10 年間で 15-20%、20 年間で約 40%弱と予後はよくありません。IgA 腎症の原因にはリンパ球の異常や、補体の活性化が原因と言われていますが、はっきりとはしていません。今回、腎生検や病理解剖で得た病理組織を補体で染色し観察します。血液から Memory B Cell というリンパ球を分離し mRNA の種類と量を網羅的に検出し、IgA という蛋白について調べます。また、血液、尿から細胞表面マーカーを検査することで IgA 腎症の重症化に関与する補体やリンパ球を同定しようとしています。

重症化に関与する補体を特定できれば将来補体阻害薬や特定のリンパ球の阻害薬などを治療薬として用いて IgA 腎症の治療に役立てることができると考えています。

研究期間 学校長承認後から西暦 2027 年 10 月 1 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、腎臓病の治療歴、

試料：病理検体、血液、尿、腎生検で採取した組織等

4. 研究に用いる試料・情報の管理者

試料・情報の利用については、研究用の ID 番号を作成し、直ぐには個人を特定できないように加工したもの（仮名加工情報といいます）を作成します。作成時の情報については研究責任者が厳重に管理します。また、加工後の情報についても、この研究に参加する研究者のみで利用します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

資料 3

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方（未成年の場合は親権者、未成年者後見人）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学小児科学講座医局

連絡先担当者：防衛医科大学校小児科学講座・今井耕輔

電話：04-2995-1211（内線 2330）（対応時間：平日 9 時～16 時）

研究責任者：小児科学講座 教授 今井耕輔